

学校教育目標	高い志を持ち、地域に貢献し、主体的に生きる生徒の育成		めざす生徒像	・互いのよさや違いを認め合い、共に伸びる生徒	・人のためになる行動ができる生徒	・学びを生かし、他者と協力し、目標に向かって挑戦し続ける生徒				
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための具体的方策	評価指標	目標値	中間達成値	中間達成度	中間評価	○成果 ●課題		
「高い志」の基盤となる広い視野を持つために	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立</li> <li>基礎的な学習内容の定着</li> <li>ICT環境の積極的活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の習慣化と自主学習ノート（継続ノート）の内容充実（学習時間週10時間以上、毎日30分以上）</li> <li>生活習慣（起床・就寝、学習開始時刻：3点固定）の確立（Daily ライフの活用、教育相談）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続ノート・Daily ライフ提出率（85%）</li> <li>3点固定ができている生徒の割合（80%）</li> </ul>	85	83.8	98%	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●肯定的な回答の割合は約84%。教室に提出の実施状況を掲示し、意識の向上を促し、声掛けを行っている。</li> <li>●約60%が目標時間以上の家庭学習をしているが、3点固定ができている生徒は約62%。声掛け等を行い、継続・向上を促す。</li> <li>○数学の家庭学習や計算練習にほぼ毎日取り組んでいるという回答は、約70%に上る。その内、約20%が最も肯定的な回答であり、今後も継続的な学習が身に付いていくよう、支援を続ける。</li> <li>○GIGA スクール構想を受け、全ての教員が授業やその他の教育活動において、ICTの効果的な活用事例を模索・研究している。3例以上33.3%。1例以上77.7%。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>数学の学力向上（基礎的な知識の定着と計算技能の向上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「標準学力調査」の分析による個人内経年変化の向上（80%）</li> </ul>	80	1月に実施	—				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科指導等におけるICT活用（教科研究・経営、内容定着）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科指導等におけるICTの新規の活用（各教諭が3例以上）</li> </ul>	100	33.3	33%					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>協調学習による「主体的・対話的で深い学び」の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協調学習の実践（各教諭が年3回以上、発話記録3回・生徒による振り返り1回以上）</li> </ul>	100	0	0%					
地域に貢献するために	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学前から高校までの連携教育</li> <li>ボランティア活動の実践</li> <li>防災、防犯教育を通じた地域連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校との交流活動・連携（協調学習、学校行事、生徒指導等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加計小との連携行事～後輩を育てようとする肯定的割合（90%）</li> </ul>	90	85.7 (3年)	95%	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中連携の一貫として11月7日に小6体験入学を行う予定である。2年生が中心となり、実際の中学校生活の様子を紹介したり、一緒に部活動体験をしたりすることにしている。また、数学科が小学校乗り入れ授業を行うなど、連携教育を推進している。</li> <li>○加計高校との連携行事を今年度も計画的に実施している。また、総合的な学習の時間において、生徒同士が交流する機会を設けている。中高乗り入れ授業は、今年度も引き続き、数学科で実施している。</li> <li>○夏季休業中に地域清掃活動を、地域ごとに縦割りグループでの地域貢献活動を行った。地域での清掃活動や福祉施設等でのボランティアを通じて、地域の実態への理解が深まり、安芸太田町の維持発展に貢献したいという思いが高まっている。また、今年度は2年生が五サー市やマルシェでの出店を計画している。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>加計高校との連携型中高一貫教育（合同学校行事、進路指導、キャリア教育等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加計高校との連携行事～加計高生の良さを認める肯定的評価（90%）</li> </ul>							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や関係機関との連携による地域貢献活動の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に貢献する活動～自己有用感の向上肯定的割合（90%）</li> </ul>						89.3 (2・3年)	99%
主体的に生きるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の主体的活動の充実</li> <li>学校行事、生徒会活動の充実</li> <li>キャリア教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「加計中六訓」と「ノーチャーム行動」の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノーチャーム行動の自己評価達成度の割合（90%）</li> </ul>	90	84.2	93%	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チャームに頼らず、自分で時計を見ながら行動する習慣が身に付いている。生徒会と代議員が主体となり3分前学習を定期的に呼びかけるなど、生徒の自治活動として位置付けている。</li> <li>○運動会や宿泊体験学習などの行事では、生徒個々が事前に目標を立て、計画的に実施した。それぞれの行事ごとに事後の振り返りを行う中で、多くの生徒が目標を達成し、充実した活動になったと回答している。</li> <li>○学年別の清掃班に加え、学期に1度1週間程度縦割り班による清掃活動を行っている。無言掃除を意識して、今年度より、掃除前に黙想を行っている。環境委員会の放送での呼びかけによる昼休憩の清掃ボランティアにも多くの生徒が自主的に参加している。</li> <li>○年間を通じて連携の機会を設け、随時進路に係る情報共有を密にしている。（現在4回）今年度も本校に招聘し、全中学生対象に学校紹介や進路選択について講話をして頂いた。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導の4視点による行事や体験活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事や体験活動後の生徒アンケートの満足度や達成度等の割合（90%）</li> </ul>						78.3	87%
		<ul style="list-style-type: none"> <li>無言掃除への取組・無言掃除への取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>無言掃除の充実感（90%）</li> </ul>						年5回以上	4回
	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高連携教育と金融教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加計高校との進路に係る情報提供（年5回以上）</li> </ul>	年5回以上	2回	40%					
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康で安全な生活を送るための指導の充実</li> <li>健康教育の充実、体力づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康で安全な生活を送るための指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師を招聘した学習（年5回以上）</li> </ul>	90	96.6%	107%	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1か月45時間以内の達成率96.6%</li> <li>○ライフワークバランスのアンケート肯定的回答率81.8%（昨年度83.3%）</li> <li>○働きがい（やりがいと充実感）のアンケート肯定的回答率81.8%（昨年度75%）</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>体育的行事や部活動の内容の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力テストの結果の向上（昨年度を上回る）</li> </ul>						昨年度以上	全員 (2・3年)

※達成度(%)=達成値÷目標値×100 ※評価 4:達成度100%以上 3:達成度90%以上 2:60%以上 1:60%未満